

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 413

政策体系	23	事業分類	ソフト事業	所管部局	農林商工部 農政課
会計	一般会計	科目	6. 農林水 - 1. 農業費 - 4. 畜産業 現年		
事業名	畜産支援事業				
細事業名	畜産支援事業				
				評価表作成者	農林商工部 農政課 松本 宏樹

1. 事業の概要

市単独で家畜伝染病予防に対し支援する。また市内畜産業者の地域間格差を是正する支援を行う。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

南丹ブランド生産者等への支援として、経営安定のための支援に加え、環境改善や安全・安心の畜産物の生産を推進する。

② 事業を実施する必要性

安心・安全な農業の推進のため、家畜法定伝染病等の発生を防ぐ必要がある。同じ市内でありながら家畜往診や集乳運賃に地域差があるが、市内全地域の均衡な畜産業の発展のために必要である。

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	3,054	2,766	3,556	3,258	3,600	3,060	3,060
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	3,200	0	0
	一般財源	千円	3,054	2,766	3,556	58	3,600	3,060
職員等の従事人員	人/年	—	0.10	0.05	0.17			
人件費	千円	—	499	254	948			
事業費総額	千円	—	3,265	3,810	4,206			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

家畜法定伝染病予防対策助成事業補助金
 1,410,487円（補助金）
 集乳運賃助成事業補助金 1,724,067円（補助金）
 遠距離家畜診療助成事業補助金 123,395円（補助金）

5. 事業結果の概要

家畜法定伝染病予防対策助成事業補助金（受益農家30戸）
 集乳運賃助成事業補助金（受益農家8戸）
 遠距離家畜診療助成事業補助金（受益農家6戸）

6. 活動の詳細

(1)		
補助金交付申請 補助金事業対象団体より交付申請	2月	家畜法定伝染病予防対策助成事業1団体(受益農家30戸)、集乳運賃助成事業1団体(受益農家8戸)、遠距離家畜診療助成事業1団体(受益農家6戸)
(2)		
補助金交付決定 補助事業対象団体へ交付決定	2月	家畜法定伝染病予防対策助成事業1団体(受益農家30戸)、集乳運賃助成事業1団体(受益農家8戸)、遠距離家畜診療助成事業1団体(受益農家6戸)
(3)		
事業完了検査 事業実績報告に基づき、事業完了検査を実施	3月	家畜法定伝染病予防対策助成事業1団体(受益農家30戸)、集乳運賃助成事業1団体(受益農家8戸)、遠距離家畜診療助成事業1団体(受益農家6戸)
(4)		
交付金の額の確定および支出 検査完了に伴い、交付金の額の確定及び支出	3月	家畜法定伝染病予防対策助成事業1団体(受益農家30戸)、集乳運賃助成事業1団体(受益農家8戸)、遠距離家畜診療助成事業1団体(受益農家6戸)

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

畜産農家の地域間格差の是正と安定的な畜産経営に資するために引き続き支援する。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

畜産農家の安定的な畜産経営に資するために引き続き支援する。

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
畜産農家の動向把握
- ②当該事業のアピール事項
家畜伝染病予防、安定的な畜産経営に資する
- ③反省点、今後の展開・方向性等
有益な事業として今後とも継続をする。